

令和7年度 第5回治験審査委員会 結果報告

1. 日時 令和7年8月22日（金曜日） 午後4時30分～午後4時39分

2. 場所 西診療棟5F 中会議室

3. 出席委員名

高橋 浩毅、小木曾 富生、棚橋 利行、梅田 道、葛谷 命、杉村 佳則、
逢坂 健司、安藤 征治、後藤 敏彦、林 隆也

4. 議題及び審議結果を含む主な議論の概要

(1) 以下の新規申請(治験)において、これまでに得られている試験成績に基づき、治験実施の妥当性について審議した。

申請なし

(2) 以下の新規申請(製造販売後臨床試験)において、これまでに得られている試験成績に基づき、製造販売後臨床試験実施の妥当性について審議した。

申請なし

(3) 以下の治験・製造販売後臨床試験において、試験期間が1年を超えるため、試験を継続して行うことの妥当性について審議した。

報告なし

(4) 以下の治験において、**当院で発生した重篤な有害事象**に関する報告について、引き続き試験を実施することの妥当性について審議した。

報告なし

(5) 以下の製造販売後臨床試験において、**当院で発生した有害事象**に関する報告について、引き続き試験を実施することの妥当性について審議した。

報告なし

(6) 以下の治験・製造販売後臨床試験において、**国内・国外で発生した重篤な副作用**について、引き続き試験を実施することの妥当性について審議した。

治験（アツヴィ）

アツヴィ合同会社の依頼による再発又は難治性多発性骨髄腫患者を対象とした
Etentamig の第Ⅲ相試験

審議結果：承認

治験（アッヴィ）

再発又は難治性の多発性骨髄腫患者を対象にベネトクラクス、ダラツムマブ及びデキサメタゾン（ボルテゾミブ併用及び非併用）との併用療法を評価する、多施設共同、用量漸増及び拡大第 I/II 相試験

審議結果：承認

治験（第一三共）

A Phase 3, Double-Blind, Randomized, Placebo-Controlled Trial of Quizartinib Administered in Combination with Induction and Consolidation Chemotherapy and Administered as Maintenance Therapy in Adult Patients with Newly Diagnosed FLT3-ITD Negative Acute Myeloid Leukemia (QuANTUM-WILD)
初発 FLT3-ITD 陰性急性骨髄性白血病成人患者を対象とした寛解導入療法・地固め療法とキザルチニブとの併用及びキザルチニブによる維持療法を検討する第 III 相、二重盲検、無作為化、プラセボ対照試験(QuANTUM-WILD)

審議結果：承認

治験（独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター）

初発の中間リスク急性リンパ芽球性白血病を有する 0 から 24 才の被験者を対象に標準的な強化療法とブリナツモマブを追加した強化療法の有効性と安全性を比較するオープンラベル、ランダム化、第 2 相、2 群試験

審議結果：承認

治験（ICON クリニカルリサーチ）

Expanded Access Study for the Treatment of Patients with Commercially Out-of-Specification Axicabtagene Ciloleucel
製品規格外 Axicabtagene Ciloleucel を用いた患者治療のための拡大アクセス試験 (EAP)

審議結果：承認

治験（ブリストル・マイヤーズ スクイブ）

ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社の依頼による新たに診断された多発性骨髄腫患者を対象とした自家幹細胞移植後の iberdomide 維持療法をレナリドミド維持療法と比較する第 III 相試験

審議結果：承認

治験（ノバルティス ファーマ）

ノバルティス ファーマ株式会社の依頼による骨髄異形成症候群の患者を対象としたエルトロンボパグの第 II 相試験

審議結果：承認

治験（インサイト・バイオサイエンシズ・ジャパン）

インサイト・バイオサイエンシズ・ジャパン合同会社の依頼による再発／難治性濾胞性リンパ腫患者及び辺縁帯リンパ腫患者を対象とした INCMOR00208 の第 3 相試験

審議結果：承認

治験（ヤンセンファーマ）

強力化学療法に非適応の新規に診断された KMT2A 遺伝子再構成又は NPM1 遺伝子変異を有する急性骨髄性白血病患者を対象とした bleximenib とベネトクラクス及びアザシチジンの併用投与を検討する第 3 相ランダム化、二重盲検プラセボ対照試験

審議結果：承認

治験（MSD）

肝硬変前の非アルコール性脂肪肝炎（nonalcoholic steatohepatitis : NASH）成人を対象に MK-6024 を投与した際の有効性及び安全性を評価する後期第Ⅱ相、無作為化、二重盲検、プラセボ対照、多施設共同試験

審議結果：承認

治験（田辺三菱製薬）

田辺三菱製薬による再発又は難治性のびまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫を対象とした MT-2111 の第Ⅲ相試験

審議結果：承認

治験（田辺三菱製薬）

田辺三菱製薬株式会社の依頼による MT-2111 の第Ⅰ/Ⅱ相試験

審議結果：承認

治験（ノボ ノルディスク ファーマ）

ノボ ノルディスク ファーマ株式会社の依頼による非アルコール性脂肪肝炎患者を対象とした NN9535 の第Ⅲ相試験

審議結果：承認

治験（大原薬品工業）

大原薬品工業株式会社の依頼による OP-2100 の第Ⅰ相臨床試験

審議結果：承認

治験（メドベイス・ジャパン）

代謝機能障害関連脂肪肝炎（MASH）及び線維化を有する被験者を対象に pegozafermin の有効性及び安全性を評価する第 3 相試験

審議結果：承認

治験（パレクセル・インターナショナル）

中等度又は高度の肝線維化が認められる NASH/MASH 肝疾患を有する患者に survodutide を投与したときの有用性を検証する試験

審議結果：承認

治験（パレクセル・インターナショナル）

NASH/MASH 肝硬変の肝疾患を有する患者に survodutide を投与したときの有用性を検証する試験

審議結果：承認

治験（ノバルティス ファーマ）

ノバルティス ファーマ株式会社の依頼による特発性血小板減少性紫斑病を対象とした VAY736 の第 III 相試験

審議結果：承認

- (7) 以下の治験・製造販売後臨床試験において、変更申請及び添付資料に基づき、引き続き試験を行うことの妥当性について審議した。

治験（アッヴィ）

アッヴィ合同会社の依頼による再発又は難治性多発性骨髄腫患者を対象とした Etentamig の第 III 相試験

審議結果：承認

治験（独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター）

初発の中間リスク急性リンパ芽球性白血病を有する 0 から 24 才の被験者を対象に標準的な強化療法とブリナツモマブを追加した強化療法の有効性と安全性を比較するオープンラベル、ランダム化、第 2 相、2 群試験

審議結果：承認

治験（ヤンセンファーマ）

強力化学療法に非適応の新規に診断された KMT2A 遺伝子再構成又は NPM1 遺伝子変異を有する急性骨髄性白血病患者を対象とした bleximenib とベネトクラクス及びアザシチジンの併用投与を検討する第 3 相ランダム化、二重盲検プラセボ対照試験

審議結果：承認

治験（KM バイオロジクス）

KD-414 小児第 III 相試験（VE 試験）

審議結果：承認

治験（パレクセル・インターナショナル）

中等度又は高度の肝線維化が認められる NASH/MASH 肝疾患を有する患者に survodutide を投与したときの有用性を検証する試験

審議結果：承認

治験（パレクセル・インターナショナル）

NASH/MASH 肝硬変の肝疾患を有する患者に survodutide を投与したときの有用性を検証する試験

審議結果：承認

- (8) 以下の医師主導治験において、モニタリング報告に基づき、引き続き試験を実施することの妥当性について審議した。

報告なし

(9) 以下の治験・製造販売後臨床試験において、試験の終了（中止）報告がされた。

報告なし

(10) 以下の治験・製造販売後臨床試験において、その他の報告がされた。

治験（大塚製薬）

大塚製薬の依頼による心性浮腫（うっ血性心不全）を対象とした OPC-131461
の第Ⅱ相試験

審議結果：了承